



DXで実現するこれからの大学図書館
～これから委員会「在り方（2024）」座談会&NCR2018適用最新情報～

「新NACSIS-CAT/ILLの変更点と今後の予定について」

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課
阪口 幸治

2023年3月30日ニュースリリースでNACSIS-CAT/ILLの新システムの始動をアナウンス

ニュースリリース

2023/03/30

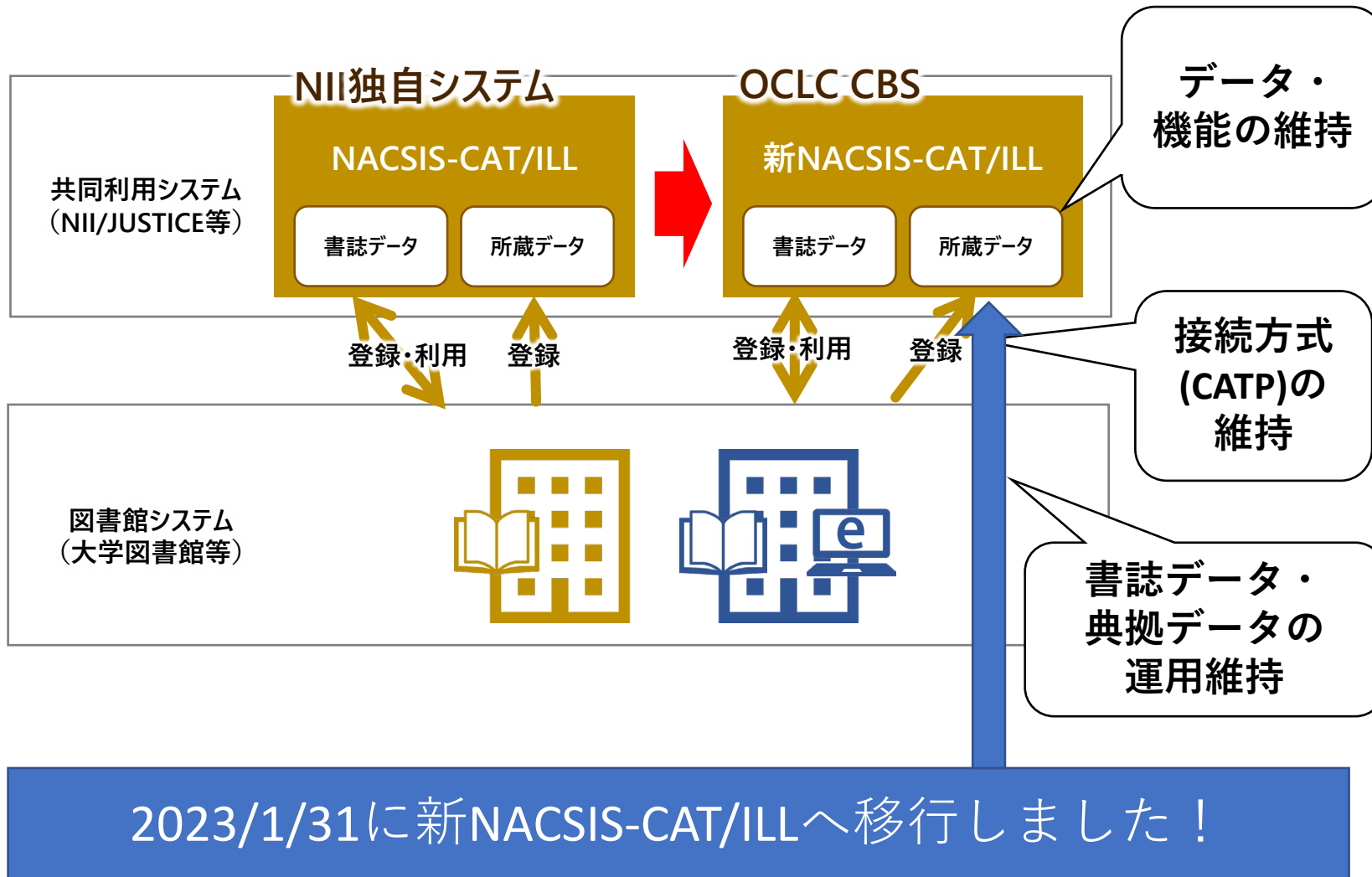
大学図書館等の目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）
新システムでメタデータの国際流通へ新たな一歩をふみだす

<https://www.nii.ac.jp/news/release/2023/0330.html>

新システムのポイント

- メタデータフォーマットの国際標準である**MARC21**と**相互運用性を保持**でき、将来への拡張性・普遍性の担保が可能
- 国際標準の目録規則であるRDAに対応した**NCR2018のNACSIS-CAT/ILLへの適用**の検討により、メタデータの国際流通の促進が可能

新NACSIS-CAT/ILLへの移行



変更された点①

- CATP/1.1スキーマバージョン1以前のサポート内容変更
 - CATP1.1 スキーマバージョン2のサポートを中心とし、より古いバージョン（CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1）へのサポート内容を以下の通り変更しました。
 - 検索以外のすべての操作がエラーとなる
 - 検索した場合に上位のスキーマバージョンの値も返戻される
- 「SEARCH」メソッドの制約追加
 - Database nameの指定において、CATのデータセットとILLのデータセットの混在が不可になりました。
- 新規書誌IDのプリフィックスを以下の通り変更しました。（既存はそのまま）
 - 図書：BA → BB → BC (CAT2020) → BD (新CAT)
 - 雑誌：AN → AA → AB (新CAT)
- 書誌データ等の空更新時に、RNWDTとRNWFAが更新されなくなりました。既存データに何らかの変更が行われた場合のみ、RNWDTとRNWFAが更新されます。
- RECONのCRTDTとRNWDTに表示される日付が「19700101」の固定値に変更されました。

変更された点②

- RELATIONの提供様式の変更
 - 新NACSIS-CATでは、登録された書誌データに対し、より高頻度でのクラスター化作業を行い、RELATION機能を向上します。高頻度のクラスター化作業に対応するため、新NACSIS-CATでは、グループID（FID）が一意ではなくなりました。
- NACSIS-CAT Z39.50ゲートウェイサーバ機能を、Z39.50の後継規格であるSRUに変更しました。
- 文字コードエンコーディングをUTF8・UTF8Eに統一しました
- 「Z39.50クライアント機能」のデータベース追加・変更
 - ドイツ HBZからGBV（K10plus）へ変更しました。
 - フランス BnFに加えsudocを追加しました。

変更された点③

- 著者名典拠データセットの日本名標目形における付記事項の記述文法で、名称と付記事項冒頭の「(」の前に半角スペースが挿入されるようになりました。

(例)

夏目, 漱石(1867-1916) || ナツメ, ソウセキ

↓

夏目, 漱石△(1867-1916) || ナツメ, ソウセキ

(△は半角スペース)

- 著者名典拠データセットの団体名や、ペンネームなどで姓と名の区別がつかず、姓と名が「,△」で区切られていない個人名は、丸ガッコの前にスペースを入れずに登録しようとした場合、エラーメッセージが表示されますので、丸ガッコの前にスペースを入れるようにしてください。

(例)

信濃毎日新聞社(1873-) ||シナノ マイニチ シンブンシャ

↓

エラー

信濃毎日新聞社△(1873-) ||シナノ マイニチ シンブンシャ

↓

OK

変更された点④

- UCS外字の取り扱いの変更
 - (1)サロゲートペア文字（UTF-8の1文字が4バイトとなる文字）の場合

- 入力する場合（リクエスト）

「◆Unnnn◆◆Unnnn◆」で入力すれば、文字をUCS1文字に変換する。

- 表示、ダウンロードする場合（レスポンス）

UTF8：サロゲートペア文字を「◆」で囲んで入力返します。

UTF8E：サロゲートペアの文字をUTF-16エンコーディングで API 応答として返します。

例：「丈」(◆UD840◆◆UDC0B◆)の場合

1. 「◆UD840◆◆UDC0B◆」と入力した場合、「丈」に変換され「丈」として登録される。
2. 「丈」と入力した場合、「丈」がそのまま登録される。

変更された点⑤

- UCS外字の取り扱いの変更（続き）

- (2)サロゲートペア文字以外の文字

「◆」で囲んで入力した場合、正しい文字への変換は行われませんので、対応する文字を直接入力するようにしてください。

例：「𐀀」（◆U3402◆）の場合

1. 「◆U3402◆」と入力した場合、「𐀀」には変換されず、「◆U3402◆」がそのまま登録される。
2. 「𐀀」と入力した場合、「𐀀」がそのまま登録される。

- 前方一致検索の仕様変更

- 旧システムでは、2文字以上の文字列の直後に「*（アスタリスク）」を付すことでキーワードの前方一致検索が可能でしたが、新システムでは、1文字の直後に「*（アスタリスク）」を付すことでも前方一致検索が可能になりました。
 - 旧システムでは、LCCN等のコードフィールドの前方一致検索が不可でしたが、新システムでは、LCCN等のコードフィールドでも前方一致が可能になりました。

変更された点⑥

- 雑誌所蔵データのHLVでの絞り込み検索の仕様変更
 - ILL業務等で行われる、雑誌所蔵データのHLVでの絞り込みにおいて、所蔵データが2階層のものを巻レベルのみで指定すると、不完全巻でも（欠号があっても）ヒットするようになりました。

例：

（所蔵館A）HLV：36,37(1-19,21-24,26),38

（所蔵館B）HLV：36-38

●旧システム

HLVの絞り込み値：37で検索→（所蔵館B）しかヒットしない。

●システム

HLVの絞り込み値：37で検索→（所蔵館A）、（所蔵館B）がヒットする。

変更された点⑦

- レコード調整の連絡方法
 - 旧システムでは、PDFの送付により、3か月に1度の頻度でレコード調整の連絡しておりました。
 - 新システムでは、図書書誌、雑誌書誌の重複書誌を統合した場合、週1回程度の頻度で、参加組織情報のEMAILフィールドのメールアドレス宛に連絡いたします。これに合わせ、PDFの送付によるレコード調整の連絡頻度は6か月に1度に変更します。
- 新NACSIS-CAT/ILLのFAQページの公開
 - 新NACSIS-CAT/ILLのFAQページを以下のURLで公開しました。
https://contents.nii.ac.jp/catill/project_reference/project/new-cat_ill/faq
- 新NACSIS-CAT/ILLでの包摂と正規化仕様の公開
 - 近日中に公開予定です。公開しましたら、NACSIS-CAT/ILLのウェブサイトでお知らせします。

今後の予定

- メタデータ高度化への対応
 - 新しい目録規則への対応
 - 日本目録規則2018年版（NCR2018）

スケジュール

～9月（予定）	NCR2018対応のコーディングマニュアル、目録情報の基準改訂版に対応したシステム改修
10月頃	NCR2018対応のコーディングマニュアル、目録情報の適用開始

システム改修の内容①

- 新規追加コードへの対応

- 以下のフィールドに新規コードが追加されるため、これらのコードを登録できるようにします。

- 【図書書誌、雑誌書誌】

- ① 出版等の役割表示（PUBF）の「d」（頒布表示）、「p」（制作表示）、「c」（頒布表示）
 - ② その他のタイトル（VT）のタイトルの種類コード（VTK）の「ET」（先行タイトル）、「LT」（後続タイトル）
 - ③ 件名の種類コード（SHK）の「N」（家族名）

- 【著者名典拠】

- ① 属性コード（TYPE）の「f」（家族）

システム改修の内容②

- 参照データセットの取り込み仕様の変更

- 参照データセットの取り込み仕様を以下のように変更し、PREBOOKの書誌データや参照データセットの書誌データや典拠データが、改訂版のコーディングマニュアル、目録情報の基準に対応するようにします。

- ① 出版等の役割表示 (PUBF) の取り込み
- ② 件名の種類コード (SHK) の「N」 (家族名) の取り込み
- ③ 属性コード (TYPE) の「f」 (家族) の取り込み
- ④ 表現種別、機器種別、キャリア種別のNOTEへの取り込み
(例)

NOTE:表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不用 (ncrmedia), キャリア種別: 冊子 (ncrcarrier)

システム改修に関する留意事項

- 2024年6月18日(火)のシステムメンテナンス後の新規追加コードの対応

2024年6月18日(火)のシステムメンテナンス後、NACSIS-CATの業務用サーバ、教育用サーバ、テスト用サーバに、件名の種類コード（SHK）の「N」（家族名）を除く、新規追加コードが登録できるようになります。

実際に新規追加コードを登録するのは、改訂版適用後になりますので、**改訂版適用開始まで、NACSIS-CATの業務用サーバには、新規追加コードを登録しないようにしてください。**

改訂版適用開始までに新規追加コードが登録されたデータがあれば、対応についてシステムワークフロー検討作業部会とNIIで検討します。

- 改訂版適用後、使用している図書館システムが、新規追加コードに対応していない場合の対応

NACSIS-CATのデータに新規追加コードを登録したい場合は、WebUIPの利用申請を行い、図書館システムが新規追加コードに対応するまで、WebUIPを用いて、新規追加コードを登録してください。

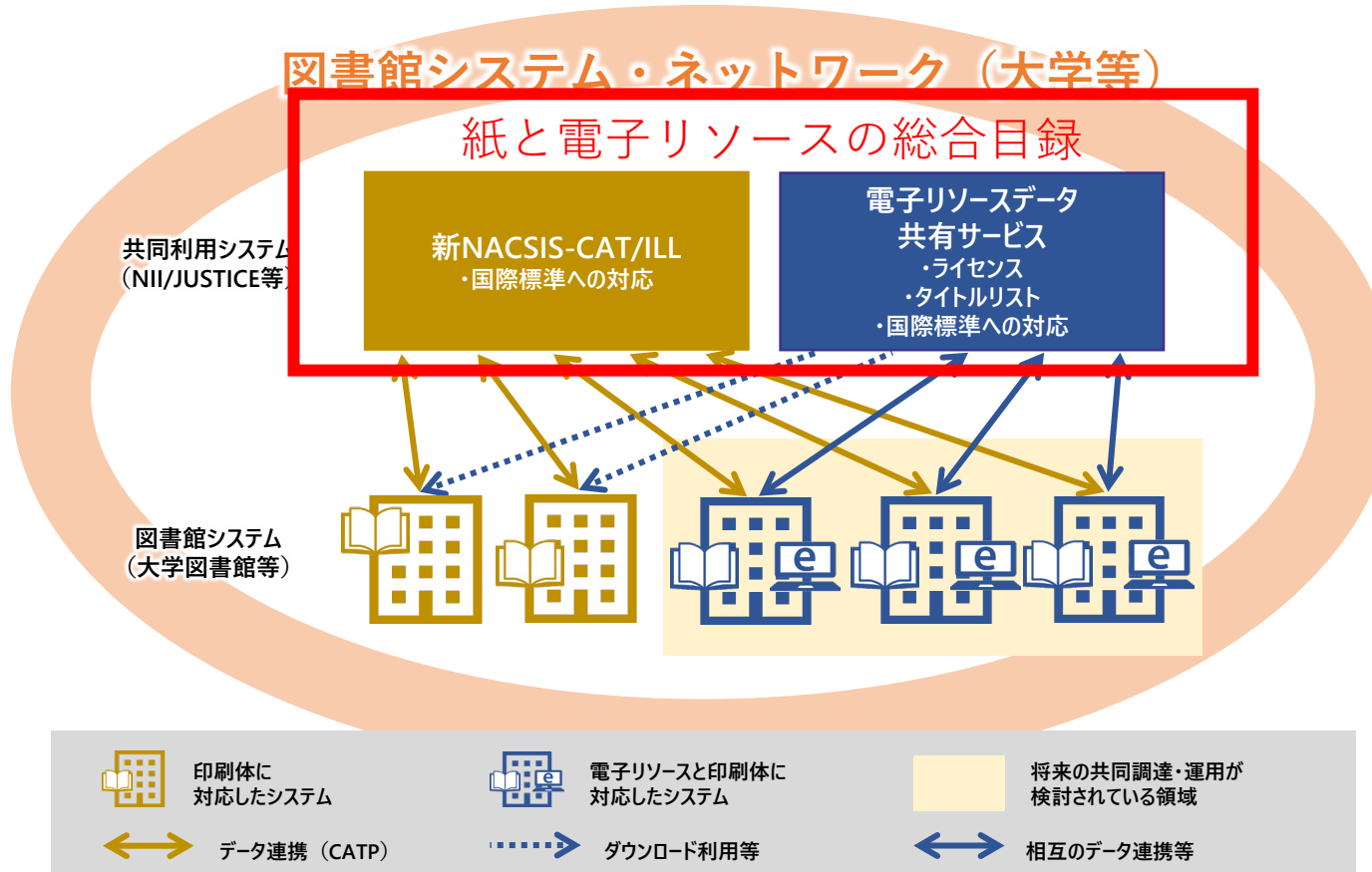
WebUIPの利用申請については以下のURLをご参照ください。

https://contents.nii.ac.jp/catill/application/cat_ill/option/webuip

改訂版の適用日が決まりましたら、NACSIS-CAT/ILL参加館への一斉送信メール、NACSIS-CAT/ILLのウェブサイト等で改めてお知らせいたします。

将来構想

『「これからの学術情報システム構築検討委員会」が実現を目指すこと』や「これからの学術情報システムのメタデータ収集・作成方針について（2022）」、「これからの学術情報システムの在り方について（2024）」を実現するため、**紙と電子リソースの総合目録の構築**を目指します。



新NACISIS-CAT/ILLシステムに未対応のバグが残っているなど、ご不便をおかけいたしておりますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご質問は、slidoへお寄せください。